

教科（国語） 科目（国語総合・現代文編） 単位数（2）

類型（**共通**）・文・理） 履修規定（**必修**）・選択）

年 間 目 標	1 現代文分野の文章を扱う中で、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 2 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。 3 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。			教科書・副教材等	
				1 教科書 「国語総合 現代文編」 東京書籍 2 その他 国語便覧 文学史 漢字 国語辞典	
期	月	学習内容（予定時数）	学習目標（短期目標）	学習のポイント・観点別評価	
1 学 期	4	高校での学習の仕方 (1)	・高校での学習の仕方を理解する。	・高校での予習・復習の仕方が理解できたか。	
	5	評論 技術が道徳を代行する時 池内了 (3)	・接続語に注意して論理展開を追い、現代社会の問題点について考える。	・技術の発達と道徳的な判断力との関係について考えることができたか。 【話す・聞く能力】	
		水の東西 山崎正和 (4)	・西洋文化と対比された日本文化の特徴について理解を深める。	○連休中の課題提出 ・二項対立的な評論の読解方法を習得することができたか。 【読む能力】	
1 学 期	6	表現の実践 スピーチをする (1)	・スピーチをしたり聞いたりする際の留意点を理解し、スピーチをする。	○1学期中間考査 ・スピーチの意義や交流の楽しさを味わえたか。 【話す・聞く能力】	
		小説1 羅生門 芥川龍之介 (8)	・場面の推移や登場人物の心理の変化を理解する。 ・作品を鑑賞し、小説に親しむ。	・あらすじを簡潔にまとめることができたか。 ・下人の心理を捉え、読み味わうことができたか。 【読む能力】	
	7	評論2 〈顔〉という現象 鷲田清一 (7)	・抽象的な内容を具体例で説明している部分に着目し、筆者の主張を捉える。	○課題提出 ・身近な事例から自分の身体について考察することができたか。 【読む能力】	
2 学 期	8	詩歌 I was born 吉野弘 (1)	・朗読を通して、詩に親しむ。 ・作品世界の理解を深める。	・詩の内容と表現の特色を理解して、適切に音読することができたか。	
		自分の感受性くらい 茨木のり子 (1)	・意見文の書き方を理解し、実際に意見文を書く。	・作者など関連した事柄について調べ、論じることができたか。 【知識・理解】	
	9	(1学期末考査後) 表現の実践 意見文を書く (2)	・意見文の書き方を理解し、実際に意見文を書く。	○授業ノート提出 ○課題提出 ○1学期末考査 ・意見文を書いたり他の人の意見を聞いたりすることにより、ものの見方や考え方を広げることができたか。 【書く能力】	
2 学 期	9	随想 少女たちの「ひろしま」 梯久美子 (4)	・被爆死した同世代の少女たちの日常生活と、それを奪った戦争について考える。	○課題テスト ○課題提出 ・戦争や原爆を題材とした随想を読み、死の瞬間まで営まれていた日常生活について思いをはせることができたか。 【読む能力】	
		評論3 広告の形而上学 岩井克人 (4)	・比喩を駆使した論の展開を、本文に即して正確に読み解く。	・広告の性質について、マルクスの卓抜な比喩を通して理解を深めることができたか。 【読む能力】	

期	月	学習内容 (予定時数)	学習目標 (短期目標)	学習のポイント・観点別評価
2 学 期	10	表現の実践 話し合いをする (2)	・話し合いのしかたや留意点を理解し、実際に話し合いをする。	・話し合いを通して、問題の解決を図ろうとする姿勢を身に付けることができたか。 【話す・聞く能力】 ○ 課題提出 ○ 2学期中間考査
	11	小説2 城の崎にて 志賀直哉 (7)	・近代の代表的な小説を読んで、小説についての理解を深め、そのおもしろさを味わう。	・生物の生と死について認識を深めることができたか。 【読む能力】
		評論4 生物の多様性とは何か 福岡伸一 (5)	・全体の構成を把握し、論の展開に即して正確に内容を読み取る。	・生物多様性という現代的なテーマに触れて、多角的なものの見方や考え方を身に付けることができたか。 【読む能力】
		表現の実践 調査して発表する (2)	・得られた情報を整理し、根拠を明確にして考えをまとめる。	・得られた情報を整理し、根拠を明確にして考えをまとめることができたか。 【話す・聞く能力】
	12	詩歌 十五の心—短歌抄 (1)	・短歌の主題や作者の心情を理解する。	・短歌の主題・作者の心情を理解したか。 【読む能力】
白牡丹—俳句抄 (1)		・句の表現に即して内容を味わい、作者の人生や自然に対する見方・考え方を理解する。	・俳句を読むことに楽しさや興味を感じたか。 【関心・意欲・態度】 ○ 授業ノート提出 ○ 課題提出 ○ 2学期末考査	
		(2学期末考査後) 表現の実践 討論する (2)	・ディベートの形式と手順を理解し、実際にディベートを行う。	・ディベートを通して、論理的な思考力や討論する力・説得する力・聞く力を身に付けることの必要性を理解することができたか。 【知識・理解】
3 学 期	1	小説3 富嶽百景 太宰 治 (7)	・文章表現の特徴をつかむ。 ・場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	○ 課題テスト ○ 課題提出 ・回想形式の物語の中で、語り手である「私」が過去をどのように形象化し、前に進もうとしているかを理解できたか。 【読む能力】
	2	評論5 テルミヌスの変身 港 千尋 (4)	・例を的確に読み取り、筆者の主張へと集約させる読解方法を習得する。	・技術革新が進む現代における人間のあるべき姿について考えることができたか。 【読む能力】
	3	表現の実践 情報を読み取る (2)	・図・グラフなどの非連続型テキストを読み解き、得た情報をもとに考える。	・テキストから情報を的確に読み取り、話し合いを通して考えを深めることができたか。 【話す・聞く能力】 ○ 課題提出 ○ 学年末考査
		(学年末考査後) 『高校生のための愛媛の文学』の講読 (1)	・上代から現代にかけての愛媛の文学を味わう。	・愛媛の文学に関心を持って読めたか。 【知識・理解】
評価の方法		1 各学期の成績の評価は、定期考査と観点別評価を総合して(提出物、小テストを含む)行う。 2 観点別評価は、記述の確認・行動の観察などによって行う。 3 「国語総合」の考査は、現代文分野と古典分野(古文・漢文)とに分けて行うが、学期成績・学年成績は「国語総合」として行う。 4 教材によって感想文・小論文などを実施し成績の評価に算入する場合がある。		

○ 国語総合（現代文）の学習法

1 基本的な心構え

(1) 授業の予習を中心にしよう。

現代文は人生を深め、より豊かな人間性を養うとともに、他の全ての教科の基礎となる大切な学問である。ところが、日常の話し言葉で書いてあるため易しそうに見え、諸君の中には、今まで予習をしないまま安易に授業に臨んだ者も多かっただろう。しかし、人生やそれを取り巻く自然や社会等の抱えた問題は決して容易ではなく、それを扱う現代文に対しては相当な覚悟で取り組まなければならない。授業に対する積極的な取組こそが現代文理解の秘訣である。

(2) 読書に心掛けよう。

単に小説だけでなく、自然・社会・歴史・思想等の随筆や評論をも広く読み、新聞にも目を通して、新しい知識を習得し、多様なものの見方・考え方を身に付けるように心掛けよう。

(3) 書くことに心掛けよう。

知識は文章化することによって定着するものである。予習・復習や授業では、ノートを十分に活用し、読書の後にも要旨か感想を書き留める習慣を身に付けよう。

(4) 辞書を活用しよう。

国語の基本は言葉である。言葉の意味・用法は辞書や文法書で正しく理解し、読解力の向上に努めよう。

2 学習の方法

国語は「よく読み → 難解な語句を調べ → 段落の要約をし → テーマを考える」という、諸君の誰もが知っている方法以外に、上手な予習の仕方も上達法もないのである。

(1) 予習について

予習が一番大切である。予習中心の勉強計画を立てよう。

ア ノートの上のページを予習に使い、下のページは授業中の記録や復習に充てる。

イ 作品を繰り返し読んで筆者の意図をつかみ、ノートの最初に書き留めておく。また、教科書教材末の「学習」や「言葉と表現」の問題を解いてみる。

ウ ノートは、段落ごとに次の事項を記入しておく。

(ア) 段落の要旨・指示語の内容・接続語の働き・新出漢字（ふりがなを振る）

(イ) 難解な語句やポイントになっている語句の辞書での意味と本文中での意味

(ウ) 教科書教材末の「学習」「言葉と表現」について自分で考えた内容など

(2) 授業について

ア 積極的に意見を述べ、疑問点や不明な点は質問する。

イ ノートを活用し、予習事項の訂正・補足、板書事項や大切なポイントを文章化する。

(3) 復習について

授業中の断片的な記録を筋の通る文章にし、この時間の要点が何であったかをその日のうちに確認しておく。

(4) その他

ア 教科書や副読本・国語便覧・各種辞書等を使って、勉強をしっかりとすること。

イ 実践的な問題演習も、定期考査、校内模試、夏・冬・春の長期休暇などの度ごとに、学校指定の問題集で範囲を指定するから、計画的に取り組むこと。まず自力で時間を掛けて解き、その後、解答例を参考に検討を加え、なお不明な箇所は先生に質問しよう。

ウ 進路志望に応じて、関連のある新聞記事等を切り抜いて自分だけの「スクラップノート」を作ろう。また、新書本など自分を高めてくれる本を読み、読書記録やレポートを作ろう。いずれ、進路選択や小論文、レポートの作成などに生かされるだろう。